

## 特許出願公告及特許拔萃

## 特許出願公告拔萃

**金屬整流器製造方法** (9年特許公告第1133號、公告9-3-26、東京市、妹尾功外一名) 化學的操作によりて鹽酸處理による悪影響を受ることなくして第二酸化銅を除去すると同時に酸化第一銅面に整流作用に良好なる粗面を形成し能率よく耐久性に富む整流板を製出せんとする目的を以て酸化第一銅及其の外面に酸化第二銅を成生せしめたる銅板を金屬鹽類の濃厚液を以て稀釋せる鹽酸溶液を以て處理し表面の酸化第二銅を必要程度の多孔質とならしむる工程と斯くしたる銅板を更に水洗してシアンカリの溶液を以て處理し前工程に於て成生せる多數の小孔を通して酸化第一銅面を局部的に浸蝕せしめつつ殘餘の酸化第二銅若しくは其轉化物を除去せしむる工程との結合を特徴とする金屬整流器製造方法。

**クローム・モリブデン鋼** (9年特許公告第1144號、公告9-3-26、東京市、渡邊三郎) 従來公知の優秀なるニッケル、クローム鋼の代用として其の諸機械的性質が一層優良なる特殊合金鋼を得るの目的を以て  $C 0.2$  乃至  $0.6\%$ 、 $Mn 0.2$  乃至  $0.8\%$ 、 $Cr 4.6$  乃至  $7.0\%$ 、 $Mo 0.2$  乃至  $1.2\%$ 、 $[Mo$  の一部を  $V$  に代ゆるか又は  $Mo$  の一部或は全部を二倍量の  $W$  に代ゆることを得]  $Si 0.7\%$  以下其他若干の不純物を含有する  $Fe$  より成る特殊合金鋼。

**電纜接合方法** (9年特許公告第947號、公告9-3-12、獨國、シーメンス、シュツケルトウエルケ、アクチエンゲゼルシャフト) 緊密にして氣泡を存せざる耐壓的接合を得ると共に簡単に鑄金の熱度制射し被鉛の熔融損壞を未然に防止せんとする目的を以て鑄型を用ひて作成せらるる電纜函體の各部分及び之と電纜鉛被との接合方法に於て鑄金注入用漏斗及び導管の一方若しくは雙方を鑄金の熱か被鉛を熔融せしむる虞ある場合自ら熔融する如き鉛板又は他の同様な物質にて形成せしめ該漏斗を該導管により上部に開孔を有する鑄型の下邊と連絡せしめ鑄金を鑄型の下部より流入せしむることを特徴とする電纜接合方法。

**石灰、礬土、石膏、セメント、鑛石及類似物を乾燥し焼成し燃焼し又はシンターする方法** (9年特許公告第962號、公告9-3-12、獨國、ミアグ、ミューレンバウ、ウント、インドストリエ、アクチエンゲゼルシャフト) 加熱瓦斯を充分に利用して燃料を節約し且つ燃焼生成物の品質を非常に一様ならしむると共に従來の方法に依るよりも形體非常に小なる設備に依て處理し得しめんとする目的を以て石灰、礬土、石膏、セメント、鑛石及類似物を乾燥しカルサインし燃焼し又はシンターする方法に於て被處理物質破砕用の填充體を填充し且つ加熱瓦斯の入り来る瓦斯透過壁を有する廻轉筒内に於て被處理物質を填充體に依て破砕し此の破砕時に被處理物質に加熱瓦斯を作用せしむることを特徴とする方法。

**瓦斯加熱装置用逆流安全装置** (9年特許公告第963號、公告9-3-12、獨國、ロベルト、ボツシュ、アクチエンゲゼルシャフト) 瓦斯加熱装置に於ける廢瓦斯に依る危險を防止せんとする目的を以て燃焼器より排出口に流るる廢瓦斯の普通の路より分岐せられたる逆流瓦斯に依り〔例へばその熱或は壓力或は化學的作用に依り〕作動せられ燃焼器に連絡せられたる瓦斯主弁の閉鎖を行ふべき安全装置を設けたる事を特徴とする瓦斯加熱装置用逆流安全装置。

**鐵鋼特殊鋼等の窒化法の改良** (9年特許公告第965號、公告9-3-12、横濱市、横濱工業株式會社) 短時間にて有効に窒化せしめ而も従來の窒化法を施したる場合に比し遙に大なる硬度を與へん

とする目的を以て真空中に於て加熱し或は融解し然る後活性窒素を作用せしむる鐵鋼特殊鋼等の窒化法の改良。

**セメント又は類似物を製造するに當り泥液狀原料を焼成爐内に分布する方法** (9年特許公告第939號、公告9-3-12、白耳義國、ギヌスターヴ、クーイマン) 爐内に鏈鎖の如き熱交換體を設けると否とを問はず爐内の各個所に所望量の原料を容易に分布し原料の焼成を均一に行はしめんとする目的を以て泥液狀原料を一方向に等速度にて廻轉する焼成爐の全内面に亘りて均等に設けたる轉向面上に射出することにより此轉向面より間接に上記原料を爐の内壁又は爐内に於ける鏈鎖の如き熱交換體に向ひ反撥送給すべくなくことを特徴とするセメント又は類似物を製造するに當り泥液狀原料を焼成爐内に分布する方法。

**高礬土質耐火物の製造法** (9年特許公告第977號、公告9-3-12、東京市、梅田音五郎) 配合素地の成形作業に支障なき程度の可塑性と乾燥生地に作業上必要な強度即ち硬固力とを與へ而かも焼成の際  $MgO$ 、 $Al_2O_3$ 、 $SiO_2$  より成れる優良結合劑を構成し高礬土質物の品質及耐火度を著しく低下することなく比較的高からざる焼成火度にて焼き締りたる堅牢なる製品を得る目的を以て高礬土質原料を主成分とする耐火物素地配合に際し結合劑として加ふべき高礬土質原料若しくは其の煨燒物又は兩者の混合物に酸鹽化  $Mg$  を含む鹽化  $Mg$  膠液を加へて泥漿となし之を主體たる高礬土質原料若しくは其の煨燒物又は兩者の混合物に加へて混交することを特徴とし後成形焼成して高礬土質耐火物を製造する方法。

**アルミナ含有物分解法** (9年特許公告第1008號、公告9-3-14、東京市、加藤興五郎) 硫酸の流動分離又は更に蒸發を輕減して頗る簡単に含有  $Al_2O_3$  を硫酸鹽になさんとする目的を以て  $Al_2O_3$  含有物を硫酸及硫酸  $Al$  の結合劑と共存せしめ其共存物を固結状態をなさずして混砂狀、泥狀又は其中間狀となし所定時間 80 度以上 400 度以下の溫度に保ちて反應せしむる事を特徴とするアルミナ含有物分解法。

**亜鉛の電解析出方法** (9年特許公告第1034號、公告9-3-16、獨國、ゲオルグ、フォン、ギツシエス、エルベン) 電解液槽に挿入物を設け以て電解槽の容積を縮少し必要エネルギー量を減少せしめ且つ電解液を特に外部的に攪拌混合する必要なくして純粹なる  $Zn$  の電著を極めて有効且つ容易ならしむる目的を以て電槽内の電極の兩側に之と直角を爲して挿入物を其上部及下部に於て溶液の流通する如くして配置して瓦斯の發生と電解液の電氣抵抗による發生熱とにより電解液の流水を電極間を上昇して電極外へ流下する規則正しき循環をなさしむることを特徴とする不溶性陽極を利用して亜鉛鹽を含有する水溶液より  $Zn$  を電解析出せしむる方法。

**クローム鹽溶液より鐵分を除去する方法** (9年特許公告第1037號、公告9-3-16、瑞西國、ヨット、エル、ガイギー、アクチエンゲゼルシャフト) 簡單なる操作により輕作業に適する鐵分を含有せざる  $Cr$  鹽溶液を得んとする目的を以て  $Cr$  鹽の酸溶液を少しく過剰のベター、ナフタレン、ズルホン酸又は其可溶性鹽を以て高温の下に處理し冷却後該溶液中より沈澱物を分離することよりなる  $Cr$  鹽溶液より鐵分を除去する方法。

**軌道車輛用軸頭上に白合金裏張を用ひずして載置すべき軸承裏金の製作に用ふべき鉛含有量大なる銅合金** (9年特許公告第1194號、公告9-3-30、獨國、ワルテル、ペーイングハウス) 従來此種裏金に用ひらるる  $Cu$  合金の冷却に際して生ずる塊離性を除去し播動性を良好ならしめ且つ合金の硬度其他の性質を

も改良せんとする目的を以て Pb 含有量大なる Cu 合金に於て重量にて Pb 10 乃至 30%、Mn 1.5 乃至 7% を含有せしむることを特徴とする特に軌道車輛用軸頸上に白金合金裏張を用ひずして載置すべき軸承裏金の製作に用ふべき Cu 合金。

**タングステン鋼又は高速度鋼電弧銲接棒** (9 年特許公告第 1202 號、公告 9-3-30、東京市、三菱造船株式會社) 所望の配合成分を含む銲着金屬を容易に且良好に接着せしめ得べきタングステン鋼又は高速度鋼の銲接棒を得る目的を以て鐵棒、炭素鋼棒、タングステン鋼棒又は高速度鋼棒の周圍に炭化 W と W 鑽石とを含有せしめたる被覆劑を塗着せることを特徴とするタングステン鋼又は高速度鋼の電弧銲接棒。

**タングステン鋼又は高速度鋼電弧銲接棒** (9 年特許公告第 1203 號、公告 9-3-30、東京市、三菱造船株式會社) 所望の配合成分を含む銲着金屬を容易に且良好に接着せしめ得べき W 鋼又は高速度鋼の銲接棒を得る目的を以て鐵棒、炭素鋼棒、W 鋼棒又は高速度鋼棒の周圍に W 鐵と電解鐵とを含有せしめたる被覆劑を塗着せることを特徴とする W 鋼又は高速度鋼電弧銲接棒。

**砂鏝淘汰裝置** (9 年特許公告第 1205 號、公告 9-3-30、東京市、大塚榮吉) 採收率高くして比較的狹少なる面積に据付可能な此種裝置を得んとする目的を以て廻轉渦卷胴の渦卷壁面に沈澱物捕集帶を布置して成る砂鏝淘汰裝置。

**海綿鐵團塊製造方法** (9 年特許公告第 1081 號、公告 9-3-19、東京市、大倉鐵業株式會社) 粉狀還元鐵を伴はず且つ不純物混入の機會を無からしめたる海綿鐵の團塊を経済的に容易に製出せんとする目的を以て粉末鐵鑽石を選礦により豫め可及的精鑄粉となしたるもののみを以て團塊となし該團塊を還元劑と共に坩堝に裝填し還元雰囲気中に於て加熱還元して純粹なる海綿鐵團塊を製造する方法。

**鐵器面に金銀屬焼付模様を顯はす方法** (9 年特許公告第 1226 號、公告 9-4-2、京都市、山田龜太郎他一名) 鐵器面に光澤と滋味を有せしめ比較的簡単に繊細なる寫眞の金銀模様を顯はして優秀なる模様鐵器を得んとする目的を以て鐵器面に銅鍍金を施し其表面上に寫眞法に依り模様を焼付け之に鹽化鐵の水溶液を吹付け水洗して模様以外の銅を除去して鐵面を露出せしむる工程と礫砂の水溶液を塗付して鐵面に鐵鍍金を化生せしめ後茶汁又はタンニン溶液中にて煮沸し鐵鍍金を固定せしむる工程と松脂其他の樹脂類と松煙又は炭素粉と蓖麻子油其他の不乾性油との混合液を以て研磨し後加熱して油分を蒸發除去する工程と模様を形成する銅面上に金銀屬の水銀アマルガムを擦付け焼付くる工程との結合を特徴として成る鐵器面に金銀屬焼付模様を顯はす方法。

**耐蝕性亜鉛合金** (9 年特許公告第 1232 號、公告 9-4-2、東京市、樋口喜六) 耐蝕性に富み質堅靱にして鐵其他の金屬に鍍着し易く亜鉛熔融鍍金用材料として特に好適なる Zn 合金を得る目的を以て 0.3~3% の Cr と 0.1~1% の Cu 又は鐵若しくは兩者を含み殘餘として亜鉛及不純物を含有する耐蝕性亜鉛合金。

**マグネシウム電解裝置** (9 年特許公告第 1236 號、公告 9-4-2、關東洲、南滿洲鐵道株式會社) 熔融鹽化 Mg 含有物より金屬 Mg の電解を行ふに當り電解爐内に隔壁を設くる事なくして電力能率高く純粹なる金屬並に濃厚なる鹽素瓦斯を容易に收得せんとする目的を以て陽極は表面を波狀其他表面積を擴大すべき形態を呈すべく炭素質材料にて作り電解爐内壁の比較的上部に位置せしめて爐内壁を兼ねしむるか或は内壁より稍離れたる箇所に配置し籠狀の熔融金屬集合同所を有し其中心に近く溫度測定用の小孔を穿てる鐵材陰極を爐の中心に備ふることを特徴とする密閉式金屬 Mg 電解製造裝置。

**耐蝕性大なる強力輕合金** (9 年特許公告第 1269 號、公告 9-4-4、東京市、航空研究所長) 添加融合し易き少量の Si を追加して合金の改善を容易ならしめ而も原特許發明に比し毫も遜色なき輕合金を廉價に得んとする目的を以て Cp 3~25%、Zn 1.16%、Mn 0.1~2.0%、Si 0.01~0.20%、Al 殘餘を含有して成る耐蝕性強大なる強力輕合金。

**電弧銲接用發電機** (9 年特許公告第 1270 號、公告 9-4-4、東京市、株式會社日立製作所) 直流發電機と別個に設けらるべきリ

アクトルを省き而も動作を安定ならしむる目的を以て分巻若しくは他勵直流發電機の繼鐵上にリアクタンス線輪を捲回し之に負荷電流を通し差動特性を賦與すべからしめたることを特徴とする電弧銲接用發電機。

**鋼板リボン焼入及焼戻裝置** (9 年特許公告第 1301 號、公告 9-4-6、北海道、木田傳作) 灼熱して送らるる長尺の鋼板リボンに噴霧冷却を行ふと共に之を引續き對向面に線條を裝着せる冷挾盤間を通過せしめて二次の冷却及反歪の矯正を行ひ不均齊及反歪なき所期の焼入を行ふべく且附隨的に焼戻をも行ふべからしめたる目的を以て冷却用噴霧器と液體の導入に依り常に冷状態を保ち且開きを調節し得る 2 個の中空挾盤の對向面に各數條の線條を裝着せる冷却兼反歪矯正裝置とより成る焼入裝置を特徴として之に加熱鍋と押壓用轉子とより成る焼戻裝置を附設せる鋼板リボン焼入及焼戻裝置。

**團塊の製造方法** (9 年特許公告第 1307 號、公告 9-4-6、東京市、日置雅章) 煙煤膠質液と纖維類との併用により著しく鑽石結合の効果を増進せしめ一層強固なる團塊を簡易に煉製せんとする目的を以て鑽石を「すす」[煙煤]の如き無定形炭素微粒子の水膠質溶液、懸濁液の結合主劑と共に纖維物質を混和して固結せしむることを特徴とする團塊の製造方法。

**三段掛珪瑯鐵製品** (9 年特許公告第 1315 號、公告 9-4-6、東京市、小島正輝) 從來の耐酸珪瑯引製品に比し酸アルカリ其他藥品に對する化學的強度並に硬度遙に高き斯種製品を提供せんとする目的を以て珪瑯引加工に於て下掛珪瑯焼付を施したる上に重金屬又は其化合物を含有する不透明釉藥を塗布焼成し更に重金屬又は其化合物を添加せざる透明又は半透明釉藥又は硝子粉を塗布焼成することを特徴とする三段掛珪瑯鐵製品。

**銅又は其の合金の臘銀着色法** (9 年特許公告第 1316 號、公告 9-4-6、京都市、化學研究所長) Cu 又は其合金を處望に應じて自由に臘銀化せしめ且つ臘銀着色品を安價に製作せんとする目的を以て Cu 又は其合金地金の表面上に Ag を鍍金し更に必要に應じては Cu 及 Ag を交互に重合鍍金したるものを地金の熔融點以下に加熱して鍍金層を地金内に擴散せしめ以て其表面を Ag, Cu 合金となし然る後之を適宜の着色液にて處理して地金の表面を臘銀化する Cu 又は其合金の臘銀着色法。

**銅又は其の合金の紫金着色法** (9 年特許公告第 1317 號、公告 9-4-6、京都市、化學研究所長) Cu 又は其合金を容易に紫金化せしめ且つ紫金着色品を安價に製作する目的を以て Cu 又は其合金地金の表面上に Au を鍍金し尙場合に依りては Cu 及 Au を交互に重合鍍金せしめ之を地金の熔融點以下の溫度に於て加熱し以て鍍金層と地金間に擴散作用を生ぜしめ之によりて地金の表面を Au, Cu 合金に化せしめたる後適當なる着色液にて處理して地金の表面に紫金層を形成せしむる Cu 又は其合金の紫金着色法。

**アルミニウム合金** (9 年特許公告第 1325 號、公告 9-4-6、英國、ロールス、ロイス、リミテッド) 弾性及抗蝕力を増加せしめたる Al 合金を得んとする目的を以て Cu 0.5 乃至 5.0%、Mg 0.1 乃至 1.7%、Ni 2.5 乃至 4.5%、Fe 0.6 乃至 1.5%、Si 0.5 乃至 5.0%、Ti 0.3% 迄、Al 殘餘、他の要素痕跡を含有するアルミニウム合金。

特許 番號	名 稱	特 許 權 者	公告拔萃本誌 記 載 番 號
104884	鋼特に工具鋼を硬化する加熱浴	リチャード・ウエベル・エ ンド・コムパニー	第 19 年 11 號
104891	無炭素含磷鐵	嘉 村 平 八	第 19 年 5 號
104976	アルミニウム及アルミニウム合金の防蝕着色方法	遞 信 大 臣	第 19 年 12 號
104977	マグネシウム及マグネシウム合金の防蝕着色方法	同 上	同 上
105160	整流器用酸化銅板製造法	同 上	同 上
105181	硫化銅鑛精粉鑛製煉法	本 村 唯 助	同 上
105261	木炭製造裝置	小 熊 龜 吉	
105266	煉炭製造方法	小 玉 美 雄	